

平成31年 第7回(平成31年4月17日 開催) 四日市市教育委員会会議の概要について

<議 事>

- 議 案 ・四日市市教育支援委員会委員の委嘱又は任命について
- 協 議 ・四日市市新教育プログラムの策定に向けて
- 報 告 ・四日市市立学校教職員の働き方改革の推進について
・平成31年度版四日市市部活動ガイドラインについて

議事概要

○協 議

- ・四日市市新教育プログラムの策定に向けて
四日市市新教育プログラムの策定に向けて協議を行いました。

<委員からの主な意見>

- ・プログラムの中に、「この学年では何を経験する」といったような具体的な日常の子どもたちの動きや、教師が実践すべき具体例を載せることで、現場により浸透しやすいものになり、プログラムの実現につながると思う。
- ・なぜ学ばなければならないのかを具体的に感じられることが、子どもたちの発育に大切である。自分の夢と実際の学びがちゃんと噛み合っていることの手応えを感じられれば、それが主体的な学びにつながるだろう。

○報 告

- ・四日市市立学校職員の働き方改革の推進について
四日市市立学校職員の働き方改革の推進のための取組を報告しました。

<委員からの主な意見>

- ・年間の時間外労働が1,000時間を超える職員がいる学校が固定化されている。まずは1,000時間超を750時間以下に減らすよう、早くから対応すべきである。
- ・タイムカードなどで実際の労働時間を明らかにし、職員自身の勤務実態を把握させることが意識改革につながるだろう。
- ・時間外労働時間を短縮させるためには、課題をはっきりさせて、その課題に対して管理職が粘り強く指導する必要がある。

- ・平成31年度版四日市市部活動ガイドラインについて
四日市市部活動ガイドラインについて、平成31年度に改訂しましたので、その内容について報告を行いました。

<委員からの主な意見>

- ・部活動は、教育課程外の活動ではあるものの、学校で行う以上は均一な基準に沿って行うべきである。このガイドラインの内容をさらに浸透させていく必要がある。